

3学年通信

Dreams come true

山形県立米沢興譲館高等学校

3 学年通信 62 号 通算 242 号

2017. 10. 21 (土) +83 点

この週末、日本各地の大会に参加している仲間を紹介します。

3年2組 W.A さん

私は10月21日に青森県の黒石高校で行われる全日本フェンシング選手権大会 北海道・東北ブロック予選に参加してきます。今回は私しかこの大会に出ないので金曜日から青森に一人旅です…。



私はインターハイが終わってからずっと練習を続けてきました。今は大学に向けて更にレベルアップできるよう頑張っています。今回の全日本もレベルが高い試合ですがいろいろな大会に出て経験を積みみたいという気持ちからチャレンジしてみようと思いました。県総体やインターハイの時は手術やリハビリもあって練習もなんとかこなしていた感じでしたが、今は少し心に余裕を持ちつつ、高い目標を目指しながら練習に取り組んでいます。大会や合宿の予定で詰まったスケジュール帳を友達に見られると「大丈夫…？」とか「寝てる？」と心配されますが、私はそのスケジュール帳見ながらニヤニヤしてます。それだけフェンシングに関わる時間に幸せを感じています。ね、恋人といえる時みたいでしょ(白目) 一度大学でフェンシングを続けることを諦めた私にとって練習も合宿も大会も全部に幸せを感じるし、続けられることに感謝できるようになりました。フェンシングで悩んでいる時は苦しいようで充実しているなあと感じます。実は今回ひとりで試合に出るのは初めてで、しかも全日本もジュニアオリンピックも決まる大事な試合でドキドキしてます笑 ですが緊張に負けず、一試合一試合大事に戦って二つの大会の出場権を得て興譲館に帰ってきます！

＊最近、WAとTMの見分けがつかうようになりました？ 頑張れWA、明日は世界だ！



3年5組 S.N さん

SNです。愛知県名古屋にあるパロマ瑞穂スタジアムに来ています。第33回U20日本陸上競技選手権大会という大会に出場してきます！ジュニアの各世代日本一を決める大会です。大会のパンフレットには「暑い日も寒い日も、毎日毎日。夏祭りの日もクリスマスの日も練習をしていたキミへ。その、日々の努力が全て報われる訳じゃない。勝負はいつだって残酷だ。でも、その努力した時間は決して無駄にはならない。さあ、魅せてやろう。キミ青春を。」というフレーズが書いてありました。毎日毎日努力してきた成果を出して、自分にできるベストを尽くしてがんばってきます！！(Oti I You 代筆)



＊SNに原稿お願いしようと思ったら既に旅立っていました。原稿は落合先生が「本人に成り代って」書いています？ありがとう。

興譲館は勉強だけと誰が決めたのか。そんなことは無い。いろんなステージで活躍している。WA&SNは勉強も頑張っている！

Dreams Come True 32 2017 / 10 / 21 (Sat.)

実に学年通信のことは忘れていた！今日は模試監督なので、いつもより少しだけ穏やかな朝だ。なので「どれ米興 HP でも観ようか」と開いたところ「3 学年通信 10 月 7 日(土) No.61 号」で止まっていることに気づいた。2 週間ぶりだ。この間、いつものように米興はニュースに溢れていた。出入りの写真屋さんは「米興は他高校の 10 倍は行事 or イベントありますよ」と話してくれた。写真屋さん大変です。「勉強ばかり」とは米興を知らない人の話ですね。まず「最後のクラス行事」であるマラソン大会。前日まで「走りたくネ」や「風邪気味で」とか弱音吐いていた3年生諸君だけれど、何々当日は欠席も無く怪我人以外は全員走りましたから素晴らしい。流石に運動不足と勉強疲れは隠せないものの、現役下級生を相手に裏面のように入賞を果たした仲間もいます。これも凄いことです。また、中には運動部のみならず文化部の生徒もいるのです。実は夏前から人知れず練習をしてきた人を知っています。上原耕太郎先生曰く「3年生は週5時間体育や！」ですから、体育の時間以外に3時間は自主的に体を動かさんとね。実は、今回上位入賞した人は、左ページの2人



を含め「勉強も伸びている」んだ。これ本当の話。先輩方もそうだった。それ故に米興は部活動も大事にするし文化的行事やイベントにも力を入れて応援する。だから10倍となる。このような時間を「全て勉強に費やせばもっと成果が出るのでは？」と考える人もいるけれど私は違うと思う。学びを含めた人の成長には「バランスの良い食事(体験・経験・実践)」が必要だと思うから。私自身が米興に感謝するのは「自主的にバランスを取ることを許された」こと。このことは現役の後輩諸君はわからないかもしれないけれど、旧校舎出身の方なら肯いて頂けるのではないかと思う。良い意味「大人扱い」、実質「放任」だったあの頃。私はあのとき許されて、自分で求めて食べたものが今の糧になっていると確信している。そして、少し形は変わったけれど今の米興にも確かに息づいていると思うし、私はそのような「伝統の語り部」としての責任があることを最近になってようやく気がついた。そう今頃。「人は50になったら故郷のために尽くすのです」

は松田修先生。3年生諸君と共に出会った先生方への恩返しでもある。そして、30数年前米興生としてお世話になった担任の安孫子先生や宮川先生、そして前山学年主任から受け継いだバトンを次代に繋ぐためである。また、いのちの講話でお話頂いた渡邊理香先生の「いのちのリレー」でもある。今までの経験が縦横無尽に交差し無限の解を導くことができる今を幸せに思う。年をとるのは素敵なことです。そうじゃないですか♪ 中島みゆきさんの言うとおりです。3年生諸君には「若さ」という無限の可能性がある。おっさんには「経験」という財産がある。全ての世代の英知を集結して日本そして世界のために貢献しよう。その糧を担う我々の代表を選ぶのが明日の衆議院議員総選挙。





